

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ディーキン大学 English Language Institute、General English
-----	--

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	5万 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	1万 円	
現地通学費	2万 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	2万 円	
雑費	0 円	
その他	5万 円	例:お土産、ツアー費
合計	15万 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で事前に2万円分両替した その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
基本的にデビットカードでの支払いで管理して、クレジットカードはネットでの支払い(事前予約など)で使った。現金はあまり使う機会がなかったが割り勘など必要な場面が時々ある。また、マーケットの中のいくつかの店舗は現金のみだったり現金の支払いだと値引き交渉がはかどったりするときがあるのである程度持っておくとよいと思う。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
SIM カードは日本でニッテルで契約してから行ったのでついた直後などに特に困ることはなかった。日本にいる時点で携帯番号や SIM カードを手に入れることが出来るので安心感はあると思う。WiFi は特に用意せず現地でもホストファミリー宅と学校の WiFi で十分だったと思う。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本食はあまり食べる機会がなかったので持って行った即席系は役に立った。エコバックも商品を買ったときに袋が付いてこなかったりお金がかかったりすることがあったので活躍する機会が多かったように思う。ミニバック(ショルダータイプの)は軽く外出するときに必需品だけ入れて持って歩くことが多く便利で使いやすいので持っていくといいと思う。ウォーターボトルも現地で買っていいと思うが水が300円するので持って行って役に立った。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: エージェントのオフィスの方) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホストファミリーの話やニュース、後は領事館からのメールは逐一読むようにしていた。中心駅ではデモ活動が週末に行われる時があったので近寄らないようにしたり、予定を変更したりしてできる限り危険な状況を避けるようにしていた。友達は催涙スプレーをかけられそうになっていたので近寄らないようにした方がいい。標的にされる時がある。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
日本で SIM カードを契約したのでついた日から数週間は何の問題もなく過ごせていたが、日本で契約すると GB が少ないのに値段が高く私は超過料金も大幅に発生してしまった。また、別の SIM カードを契約することにもなったので個人的には現地で買う方が圧倒的に良いと思う。心配な人は日本で買っていくのもいいと思うが現地に頼れる方がいる場合や時間に余裕がある人は事前に調べて現地で契約するのが最善だと思う。また、ホストファミリーを頼りにするのもよい選択肢だと思う。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
---------------	----------

☐ 寮・アパート	☒ ホームステイ	☐ ホテル	☒ 個室	☐ 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分				
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)				
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)				
私のホストファミリーはとてもいいファミリーで毎日とても楽しく快適に過ごせた。ルームメイトもいなかったなので家族の中に入るような形だったが気にかけてくれて自分自身から会話できるようになった。違う生活スタイルを体験できるので日本との違いをいろいろな面から感じた。現地の語学学校には日本人もいると思うのでホームステイの方が英語を話す機会が増えると思う。ただ私の周りの友達にはホームステイ先を変更した子や合わないと言っている子、楽しいと言っている子と本当に様々なので他の滞在形式も考えたうえで選んだほうがいい。				

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
私は夏休みに行ったのもあってか現地には想像以上の日本人がいた。また、クラスも日本人が多いので授業自体は英語で行われるものの日本語も使っていた。私が行ったときは他大のグループ渡航が来ていた。たまに個人渡航の日本人もいる。しかし、海外からの留学生もいるのでグループプロジェクトでは意思疎通をお互いにするため英語を話す意欲がうまれた。英語に意欲的な生徒が多いので自分自身も授業に積極的に取り組めた研修先の授業でポッドキャストのレコーディングがあり、実際のスタジオでグループで英語のラジオをレコーディングするアクティビティはとても新鮮で面白かった。その授業で発音の大切さや意識が変わったように思う。
2)課外プログラムについて
大学に付属している語学学校だったので大学の施設も自由に使うことが出来た。ジムで運動することで友達が出来たり、課題をするために図書館に行ったりととても充実した日々を過ごした。語学学校が主催しているツアーに参加することで交友関係も広がったのでアクティブに行動するととても濃い時間が過ごすことが出来るプログラムだと思う。
3)現地での生活に関すること
大学からシティーは1時間ほどで行けたり、30分で近くのショッピングセンターに行けたりと授業だけでなく放課後も楽しめるような立地にある。学校と関係なくオーストラリア人と交流するイベントに行ったり、友達のホストファミリーとでかけたりしていた。バスや電車は時間通りに来ないことが多く突然キャンセルになることもある。治安はとてもよく個人的には日本と変わらないと思う。人も私があった人はいい人が多く、知らない人でもすれ違ったら挨拶や会話を。物価が高いので私は結構使ってしまったが、もしオーストラリアに行くなら計算して節約して使っていけばもう少し抑えられると思う。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
オリエンテーションでは多くの学生が一緒に集まるので現地の学生と初日から交流することが出来る。また、クラスが一緒だった中国人の子とはお互い英語で会話をコミュニケーションをとっていた。クラスの人とは週五でコミュニケーションをとれ、同じクラスじゃない子とも日常を過ごすうちに交流して友達になることが出来る。 また、お昼休みにほぼ毎日イベントが開催されているので参加すると現地学生と交流することが出来る。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
友達の友達と仲良くなって現地の大学生と交流する機会が増え、みんなでピザパーティーをしたり、ビリヤードをしたりを楽しんだ。また、イベントやツアーに参加したときは積極的に声をかけることでいろいろな人と交流できた。ホストファミリーの家族が近くに住んでいてホームパーティーに参加したりホストファミリーの友達が家に来たりと友人関係なく交流する機会もあった。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
電車やバスが時間通りに来なく、日本と比べて時間がゆっくりと流れているように感じた。車移動が普通なのか車の量が多く電車が満員になることも少なかったと思う。 空港に花を持って帰国する人を待っている人が多い。私のホストファミリーのお兄さんも大きな花束を持って空港に向かっていた。知らない人でも目が合うだけで挨拶をしたり、微笑んでくれるため会話が生まれることがある。 また、犬にリードが付いていない。大型犬が多く自由に歩き回っている。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は今回初めての海外で英語力もそんなにないし不安4割、楽しみ6割くらいでオーストラリアに向かったけどついてみたら素敵なホストファミリーと友達に囲まれて楽しいことたくさんで毎日本当に楽しかったし今までで一番思い出に残る夏休みになりました。海外行ったことがなくても短期留学なら踏み出しやすいし私は英語をもっと勉強したいしまた海外で過ごしたい思いが強くなりました。

この短期留学から私が学んだことの一つ目は行動力です。何事もやってみることがどれだけ大切かを学びました。最初は不安だったこの留学も今になってみれば何に悩んでいたのだろうと思います。現地で過ごすうえでも行動力はとても大切です。私はとりあえず話しかけてみたり、イベントに出向いてみたり自分自身が楽しむためにできることをやっていったら楽しい日々を過ごせました。私はもともと一人で行動できるタイプだったけど流されるよりもより自分がやりたいことをやってみることが最終的には自分のためになるのだなと思いました。

二つ目は英語を勉強する意欲です。今までも英語を勉強しているいろいろな人と関わってみたいという思いがあったけどより強くなりました。言いたいことを言えなかったり話が理解できなかったり、自分自身が不甲斐ない思いをしたからこそより話せるようになりたいと思いました。実践できる環境に行ってみることはとても大事だと思います。

私はいろんな考え方、性格、行動力から刺激を受けたので迷っているなら一回トライしてみるの悪くないと思います。不安なことがあっても最終的にはなんとかできるしエージェントの人がすぐに相談に乗ってくれるので安心して向かうことができるプログラムだと思います。私は今後の学生生活を毎日このぐらいの密度で過ごして後悔しない楽しい日々を過ごしていきたいです。